

平成28年5月25日

守谷市議会議長 殿

報告者： 堤 茂信 印

議員合同視察・研修報告

標記の件について、次のとおり実施したので報告します。

視察・研修日	平成28年5月24日（火）
視察・研修場所	新潟県長岡市
視察・研修項目	アオーレ長岡の視察・研修
参加者	守谷市側 会田市長、総務部 須賀部長 議会事務局 菅谷部長、望月係長、槇野主任 守谷市議会 梅木議長、市川副議長、松丸議員、伯耆田議員、 佐藤（弘）議員、川名議員、高橋議員、高梨（恭）議員、山 崎議員、寺田議員、山田議員、佐藤（剛）議員、青木議員、 長谷川議員、渡辺（秀）議員、高梨（隆）議員、堤議員、神 宮議員、砂川議員、渡辺（大）議員
	相手側 長岡市議会 藤井副議長、アオーレ交流課 山田課長 議会事務局 樋口係長、井坂氏、他
視察・研修目的	まちなか市役所として、市民交流センターやアリーナ施設を併設する形でH24年4月に開設された「アオーレ長岡」を視察し、市民が交流できる施設の在り方を研修し、守谷市政の今後の参考とする。
視察・研修内容	(1) アオーレ長岡の概要説明 (2) アオーレ長岡の施設現地視察

<p>視察・研修総括 (今後の取組み等)</p>	<p>先進的なデザインの市役所庁舎及び議場、それに併設する市民交流センターやアリーナ施設は大変魅力的で、市役所＝市民交流の場とする考え方は参考になる。しかしながら、施設建設には多額の予算が必要であり、5億円の維持管理費も守谷市の財政規模では大きな負担となる可能性があるため、総合的な観点から考察する必要がある。</p>
-------------------------------------	---

視察・研修内容

【概要】

- ・長岡市…新潟県の内陸に位置する。891 km²（守谷市の25倍）。
人口約27.5万人（守谷市の4.2倍）。
- ・アオーレ長岡…H24年4月1日に開業。JR長岡駅に近接。長岡市役所本庁舎と、アリーナ（5000人収容）、市民交流ホールなどを擁する交流施設、屋根付き広場「ナカドマ」、シアター・コンビニ等から成る複合公共施設。総事業費は131億円。「アオーレ」は長岡弁で「会いましょう」の意味。設計は隈研吾氏。

1. アオーレ長岡の運営事業について

(1) 市民組織による運営形態について

- ・H16年に新潟県中越大震災で被災し、旧本庁舎の耐震性不足を認識。その後3度の市町村合併を受け、本庁組織を7カ所に分散して不便な状態であったことが、まちなかに溶け込む市役所「アオーレ長岡」ができる契機となった。
- ・アオーレ長岡の交流施設は、NPO法人ながおか未来創造ネットワークに委託し、そこが運営している。結果、市民目線による運営で自由な発想を実現している。
- ・行政は下支え（維持管理）に徹している。
- ・一般市民の施設使用は基本「無料」。
- ・行政の縦割りに対して、NPO法人ながおか未来創造ネットワークが市民団体と行政をつなぐプラットフォーム役を担っている。

(2) 市民参加の状況について

- ・施設利用者は年間132万人（H27年度）。
- ・アオーレ長岡の相乗効果で長岡駅周辺の空き店舗数が半減。

(3) 行政のサポートについて

- ・総合受付にコンシェルジェを配置して、複数の手続きをワンストップサービス（市民があちこちの窓口を回るのではなく、待っていれば市職員が順番に対応）を行っている。
- ・平日は20時まで開業。土日も17時まで開業している。

(4) 運営費用について

- ・建設費は131億円。
- ・歳出内訳（計131億円）
 - > 国交付金29億円（内、7億円は街づくり交付金）
 - > 地方債54億円（内、52億円は合併特例債）

- > 基金45億円
- > 一般財源3億円

(5) 施設（特にアリーナ）の活用事例について

- ・施設全体の稼働率は80%以上。（アリーナは70%弱。）内、市民利用が80%以上である。
- ・アリーナの活用は新潟アルビレックスBB、大相撲、プロレス、アイススケート、市民スポーツ等。

2. 質疑応答

Q) ランニングコストは如何ほどか。

A) 年間で5億円。

Q) 遠くて利用しにくい市民はいないか。

A) 駅に近く、交通弱者にとっても利用しやすい市役所となっている。

但し、駐車場は地下に103台分しかない。駅周辺合わせると1500台の駐車場があるので、車利用の方にはそこを利用してもらうようにしている。

Q) イベント集客時の市外からの人の割合がわかれば教えてほしい。

A) イベント集客時の2割は市外県外だと思う。

Q) 設備運営をNPO法人ながおか未来創造ネットワークに委託し、行政が下支えするという説明であったが、具体的にどういうことか。指定管理者ではないことのメリットは何か。

A) 組織的にはアオーレ長岡ができる前の街づくり委員会のメンバーがそのまま理事になって、市からは6名出向している。市の意向も踏まえつつ、民の意向が反映できる組織となっており、メリットは融通が利く、デメリットは責任の所在が曖昧なことである。

Q) 他にもNPOに委託している施設はあるか。

A) アオーレ以外にはない。

Q) 指定管理で行っている施設はないのか。

A) 基本は指定管理で行っており、アオーレ以外は指定管理である。

Q) 委託先のNPO法人の職員は何名か。

A) 市の出向6名を入れて20名である。

Q) 委託先のNPO法人への予算はいくらか。

A) 委託料は1億円（8割は人件費）。

また別途、市からの出向職員6名分の人件費として6000万出している。その他、大規模なイベントの補助金として1.2億円を拠出しており、合計2.8億円を支払っている。

Q) NPO法人への業務委託の範囲はどこまでか。

A) ナカドマ、アリーナのイベント、共有スペースの装飾等である。

3. 施設見学について

- ・アオーレ長岡の市役所庁舎、議場、市民交流センター及びアリーナ等の現地視察を行った。

以上